

## ハンドブック ワンポイント レッスン

# 知っておきたい規則とルール

### Question

先日の日本リーグを観戦した高校生です。2級審判資格を持っていますが、試合中の判定に疑問が残りました。前衛サイドのレシーブで前衛が相手後衛に打ち返し、相手後衛はレシーブした前衛をシュートボールでバックを攻めました。ところが、前衛は素晴らしいバックボレーをストレートに返し相手後衛は拾えませんでした。ランニングボレーであったため勢い余ってそのマッチの副審に体当たりしてしまいました。正審はボレーの行方を見て、前衛ペアのポイントを認めていたようで何もコールしませんでした。その時、副審の方が正審のところへ走っていき何か話をしました。そして、正審は「タイム」とコールし、両方のプレーヤーを呼び、ボレーをした前衛ペアに副審への「タッチ」を宣し失ポイントと判定が下されました。すかさず、ボレーをした方のチームの監督が出てきて正審に質問をし、中断しました。その時、副審がレフェリーを呼ぶように依頼したところ、レフェリーが出て来てアンパイヤーと何か話していました。正審から、判定通り「タッチ」と再判定が下されました。私の疑問は、素晴らしいバックボレーがしっかり決まり後衛も打ち返せなかったのにポイントになったと思ったのに、何故判定がボレーをした方が失ポイントになったのか教えて下さい。

### Answer

失ポイントになるプレーが双方のペアに発生した時は、どちらが早い失ポイントかをアンパイヤーが見定めて判定します。双方まったく同時に失ポイントが発生したと判定した場合は、ノーカウント（サービスの場合レット）になります。

今回の判定は大変高度な技術を要する場面ですね。判定に関しては2か所に起きた問題を同時に視野に入れそれも時間的な経過を確認し、判定する必要があります。1つは、バックボレーのボールがツーバウンドするまでに打ち返されるか、またバックボレーをしたプレーヤーがボレーをした勢いでコート外の副審に触れた現象が、どちらが早かったかを確認して判定を下さなければなりません。もう1つは、副審の位置がプレーヤーのプレーの支障にならなかったか?の2点です。いずれも、早い動きのある広範囲の視野を凝縮して見ていなければ判定出来ない難しい局面です。

1つ目の判定ですが、正審はバックボレーで返球したボールをツーバウンドするまでに相手後衛が打ち返すことが出来るのかを一方の目で追いかけてながら、もう一方の目はバックボレーをした前衛を追っていたわけですから気が気でなかったと思われます。一方副審はサービスの判定後レシーブしたボールを追いながら定位置に移動中、レシーブをバックに攻められた前衛が見事バックボ

レーで返球しボールがツーバウンドすると、その前衛が自分（副審）に体当たりしたのとどちらが早いかを判定し、正審に伝えることが必要でした。ツーバウンドすると体当たりとどちらが早かったかについては自分（副審）が一番よくわかっています。さて、もう1つの副審の位置については、サービスの判定後ネットポストの後方の定位置に移動している途中で体当たりしてきた出来事であり、「タッチ」の判定を下し、バックボレーをしたプレーヤーの支障にならなかったと判断したようです。従って、正審は一方の状況判断材料が不足で副審からの情報を受けて判定をしようとしていたところ、副審が速やかにやって来て自分（副審）の位置と2か所の情報を克明に伝えてくれ、正審が受け止めていた状況と副審の資料提供によって意を強くして、副審の資料提供を尊重し「タッチ」を優先し判定を下したようです。この事は、正審と副審の連携が正しく行われた見事な判定といえるでしょう。そして、監督からの質問もレフェリーが立ち会っていますが手順を踏まえて説明し、ご了解を得たものと思われます。

日本リーグは本部審判で行っていますので、今回のような一方を見落としがちな複雑な判定も正・副連携によって正しく対応できたものと敬意を表します。最後に、見ている者として複雑な判定の様に受け止められたようで

すが、それだけ審判を務める者は平素から訓練を重ね、自信と経験そして集中力や流れを予測（イメージしている）する事が大切な条件となります。是非参考にしてください。



### 【関連規則】

競技規則第35条（インプレーにおける失ポイント）（3）、（5）ウ【解説14】1、競技規則第36条（ノーカウント）（3）（4）、  
審判規則第13条（判定の連携）、審判規則第14条（再判定）

【ジュニア審判マニュアル】

競技規則について

11. ポイントを失うのはどんなときか？（3）（7）、12. ノーカウントになるのはどんなときか？（6）（7）

審判規則について

1. アンパイヤーの任務と心得（14）、4. 判定の確認と連携、5. プレーヤーから質問があった時は？（再判定）、  
6. 判定を間違えたときは？（判定の誤り）